



住民懇談会報告

各街区で開催されました住民懇談会の報告です。



○第3街区 7月8日(日)開催 30世帯・36名参加

☆学校協力金の決算等の最終報告が不十分と感じている。また昨年は赤い羽根募金の参加証(赤い羽根)が配布されなかったがその理由は何ですか。

(回答)学校協力金の決算書はコミ協事務局にあるので、閲覧できる案内をコミ協だよりでします。赤い羽根の配布は、豪雨災害と重なり忙しくて行なわず、案内の不備をお詫びします。

☆「杜のあし対」の進捗状況を詳しく聞きたい。

(回答)対策の実施には、車両やドライバーが必要、現在西ビルも交えて『まちづくり』協議会にて詳細検討中なので、もう少し待って貰いたい。

☆街路樹下の植栽の剪定が行われたようだが、1丁目下側の植え込みの剪定が不十分のようだ。

(回答)今回の作業は終了と報告されている。そのような作業になった理由は業者に聞いてみます。

☆SMS連絡網を夫婦で登録し利用したいが、登録人数の制限はあるのか。

(回答)夫婦で夫々登録できます。コミ協濱田事務局長に連絡してください。

☆(区会からのお願い)一斉清掃時に、1丁目では担当する参加者が少なく難航している。対策として2丁目南側にお住いの方に、1丁目への応援をお願いします。(河辺記)

○第1街区 7月15日(日)開催 28世帯・31名参加

☆草木捨て場の利用について

開設当初の経緯のお話や、正しく利用する為のご提案があり、存続を希望される方が多かった。

☆豪雨時の土砂災害対策や安全な避難に関するご意見

警戒区域に住む方が何軒かある。斜面の改善や避難時の安心の確保への意見がでた。

☆美奈宜の湯と西ビルが、回数券の価格変更を話しあったが、うまくいかなかったらしい。安くなるように住民組織から話してもらえないか。

☆花見の会の開催報告(高橋幹事) 4月1日 晴天の下48名が参加して開催されました。9回目で他地区からも羨まれる会と成長しています。天気が良すぎるのでサロンで、ゲームやクイズを楽しみ、話に花を咲かせました。今回は、寄付や復興券を利用して花見弁当が豪華になりました。次回10回の幹事は、当初の発起人の立木さんをお願いしました。

☆区会からの挨拶 半世紀前のNHKホームドラマのように、隣人に優しく人情味があり、ストレスが溜まらない、隣組のような5丁目にしたいと思っています。(古川記)

○第2街区 7月22日(日)開催 43世帯・47名参加

今回の豪雨に関する住民の安全対策や災害防止対策へのご意見が、非常に多く寄せられました。

☆避難所の開設 市が避難所を開設しなくてもセンターなど、独自に開設して欲しい。

・夜間でもセコムに言えばセンターが利用できるようになっている。また実際避難した人もいた。

・他地区からの避難者も受け入れる体制は、市と協議してからの実施になる。

☆今回の避難指示を受けて自主防災会などは何もしなかったが、対応をどう考えているのか。

・日頃から雨の時は、自宅にいてくださいと言っているし、動き回ると別の災害に遭う恐れもある。

・緊急連絡網で知らせることは、かえって混乱を招き、住民組織としては責任を負えないと考える。

☆今回の災害で発生した事象に対し、夫々を点検し対処をすることが災害防止に役立つと考える。

☆街のセキュリティは、西ビルが負っている。夜間はセコムが代行している。

・危険を感じたり、情報が途絶えた場合は、セコムに連絡すると救出や情報提供をしてもらえる。

・住民同士はお互いに高齢者で無理が効かない。そのためにセコムがあると考えて欲しい。(渡邊記)

懇談会共通事項報告

住民懇談会での全街区共通事項の報告です。



☆コミ協報告

①8月4日に夏祭りを例年同様に開催します。多くの皆様のご参加をお願いします。

②災害時には近隣地区とは連携し助け合わなければなりません。当地区は三奈木の消防団から支援を受けることになっているなどあり、日頃からの近隣への配慮が必要だと考えています。

☆社協報告

①美奈宜の杜クリニックが開設され、住民の利用が増え存続することが必要です。健生病院への応援でなく、当地区の診療所の応援と考え大いに利用してください。

②住民の高齢化が進み、独り住まい33世帯、介護認定を受ける方10世帯以上になっています。社協は区会、民生委員と連携して、今後の対応をしたいと考えています。

③楽食は、現在15名の会員が活動し、毎回80食を作っている、市内で一番活発な組織ですが、もっと多くの方に活動への参加をお願いします。

☆区会報告

①5・7丁目の草木捨て場の利用について、区会だよりでお願いしましたが、状況は解消されず、西ビルは閉鎖も考慮しています。利用者有志で今後定期的清掃などの実施を呼びかけます。

②区会の組織、活動の見直しに着手しました。

・区会はできて17年経過しました。コミ協や社協もできて夫々が役割を果たしている中、区会は古い規約のままでの活動を続けています。

・街には住民が増えて、夫々の街区の環境に相違があり、住民からの要望も異なっています。

・75才以上の高齢者は、現在170名ですが、10年後には590名(住民の87%)となり、その対策で行政や西ビルを動かすには、コミ協が中心になる必要があります。

・今後コミ協や社協と連携しながら進めますが、住民には適宜報告を行い、臨時住民総会などで住民に最終承認を諮ります。(福元記)

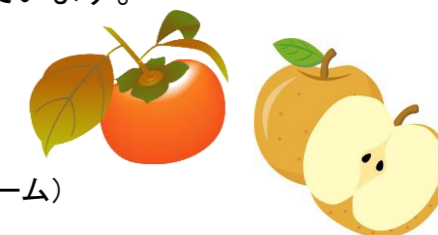
☆今回豪雨による黒川地区、杷木地区の被災 農業体験チームからの報告

今回の雨では、昨年梨や柿を購入したり、収穫の手伝いをした、黒川、杷木地区が再び被災しています。区会と連携した「農業体験チーム」は今年も、「高木梨」「杷木の柿」の購入をするなどして黒川や杷木の生産者のお役に立てればと、住民へのご案内を計画しています。

○梨は、8月中旬の「幸水」から10月の「新高」まで出荷

○柿は、10月下旬の「西村早生」から12月の「富有柿」まで出荷

詳細は再度ご連絡しますので、ご協力をお願いします。(農業体験チーム)



新しい住民のご紹介

○野見山さん (セカンド)



—編集後記— 昨年と今年の豪雨の違いは？

奇しくも昨年と同じ日に100年に一度の豪雨を連続して体験しました。今年ももっと広範囲で災害が発生し、背振山地が原因との説は影を潜めています。これでは、今後100年間は大丈夫とはとても思えません。むしろ毎年、どこでも発生すると考えておく方が災害への備えになるような気がします。朝倉では、今年の降水量は昨年の災害の半分以下でしたが、黒川や杷木では同様の災害が発生しました。復旧の途上ですから、脆弱になった土地は災害に弱かったようです。ご存知の方もおられるようですが、今回は寺内ダムが厳しい状態で、四国の肱川のダムと同じことになりそうでした。江川ダムは水量調整機能がなく、小石原川下流地区の安川や上秋月地区に被害が出ています。昨年大丈夫だった両ダムは、今年の豪雨時に昨年より貯水量が多かったことや、昨年の土砂がまだ取り除かれてなかったことが原因のようです。市にはダム放流時の情報を当地区にも入れるように要望しました。 福元記